

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公開番号】特開2018-79145(P2018-79145A)

【公開日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2018-019

【出願番号】特願2016-224255(P2016-224255)

【国際特許分類】

A 6 1 L	31/04	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2017.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 L	31/14	(2006.01)
A 6 1 L	24/00	(2006.01)
A 6 1 L	24/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)

【F I】

A 6 1 L	31/04	1 2 0
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	47/02	
A 6 1 L	31/14	3 0 0
A 6 1 L	24/00	2 4 0
A 6 1 L	24/10	
A 6 1 K	9/06	

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月6日(2018.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

0.6質量%～3質量%のコラーゲン、水、200mM～330mMの塩化ナトリウム及び緩衝剤を含有し、pHが6.0～9.0である生体組織孔閉鎖用ゾル。

【請求項2】

0.6質量%～3質量%のコラーゲン、水、200mM～330mMの塩化ナトリウム及び緩衝剤を含有し、pHが6.0～9.0である潰瘍保護用ゾル。

【請求項3】

0.6質量%～3質量%のコラーゲン、水、200mM～330mMの塩化ナトリウム及び緩衝剤を含有し、pHが6.0～9.0である血管塞栓療術用ゾル。

【請求項4】

0.6質量%～3質量%のコラーゲン、水、200mM～330mMの塩化ナトリウム及び緩衝剤を含有し、pHが6.0～9.0である生体組織接着用ゾル。

【請求項5】

前記緩衝剤がリン酸塩を含む、請求項1～4のいずれか一項に記載のゾル。

【請求項6】

ゲニピン又はゲニピン誘導体を40mg/L～1400mg/Lの範囲で含有する、請求項1～5のいずれか一項に記載のゾル。

**【請求項 7】**

コラーゲンが、テロペプチド除去型コラーゲンを含む、請求項1～6のいずれか一項に記載のゾル。

**【請求項 8】**

1.4質量%～1.7質量%のコラーゲンを含有し、カテーテルを通して生体組織に局所投与される、請求項1～7のいずれか一項に記載のゾル。

**【請求項 9】**

生体組織に接触するとゲル化して生体組織に付着する、請求項1～8のいずれか一項に記載のゾル。